

## 福岡市美術館の概要

ご希望の文字数によっていずれかを選択ください。

### <50 字程度>

都心部の公園内にあり、古代から現代まで世界的な名品を含む幅広いコレクションを約 16000 点所蔵。教育普及プログラムも充実。

### <150 字程度>

1979 年開館の当館は、都心部に近接しながら水と緑に恵まれた大濠公園の中にあり、古代から現代まで幅広いコレクションを約 16000 点所蔵。重要文化財を含む茶道具、仏教美術の他、九州出身の近代洋画家、ダリ、ミロ、シャガールといった海外作家の作品も必見。未就学児童や高齢者向けのユニークな教育普及活動も行う。

### <500 字程度>

福岡市美術館は、常設展示室および特別企画展示室の他、美術図書が閲覧できる読書室、講堂、講座室、市民が自らの作品を発表できる市民ギャラリーを備えた美術館として、1979 年に開館しました。都心部に近接しながら水と緑に恵まれた大濠公園の中にあり、近隣の舞鶴公園、福岡城跡、鴻臚館跡などと合わせて、福岡の都市と文化を感じることのできる環境にあります。

そのコレクションは非常に幅広く、旧福岡藩主・黒田家ゆかりの美術作品、昭和の大茶人・松永安左エ門の茶道具、近代以前のアジアの陶磁器・染織・仏教美術などの古美術作品から、青木繁、坂本繁二郎など九州出身の近代洋画家、ミロ、ダリ、ウォーホルをはじめとする 20 世紀の重要な国内外の作家の作品、さらには 21 世紀の美術動向を示す現代美術作品まで、世界的な名品を含む約 16000 点を収蔵しています。これらの豊富な作品をさまざまな角度から紹介するコレクション展は、いずれも鑑賞の楽しみに満ちた個性豊かなものばかりです。さらに、学芸員の研究成果として意欲的な特別企画展も開催しています。

また、学校団体のための鑑賞活動の他、未就学児童や高齢者といった年代別のプログラムや、近隣の美術館・博物館のみならず、動物園や植物園と連携した教育プログラムなど、ユニークな教育普及活動を行っています。

2010 年、2 階ロビーに新設されたキッズコーナーは授乳室も併設。家族連れにもやさしい美術館として多くの人々に親しまれています。

## 利用案内

【開館時間】 9：30～17：30、7・8月は9：30～19：30（日・祝日を除く）。入館は閉館の30分前まで。

【休館日】 月曜日。ただし、月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館。

12月28日～1月4日

【常設展示観覧料】 一般200（150）円、高大生150（100）円、中学生以下無料。（ ）内は20名以上の団体料金。

※以下の手帳をご提示の方は無料。

療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳（以上は介護者1人を含む）／特定医療費（指定難病）受給者証／特定疾患医療受給者証／先天性血液凝固因子障害等医療受給者証／小児慢性特定疾病医療受給者証／福岡市、北九州市、熊本市、鹿児島市在住、住所と65歳以上を確認できる証明書。

## 【交通案内】

バス：赤坂三丁目もしくは福岡市美術館東口より徒歩5分。

地下鉄：[空港線]大濠公園駅下車、3・6番出口より徒歩10分。

[七隈線]六本松駅下車2番出口より徒歩10分。

車：福岡空港から30分、博多駅から20分、天神から10分。